

# 医療機器取引における課題とその解決のための サポートビジネスモデルの検討

氏 名 成田 隆任  
指導教員 工藤 一成

## 要旨

本研究では、医療機器の取引に関する不正や導入機器におけるオーバースペック、アンダースペックなどの問題を“医療機器購入における非効率性”として、それらが起こる原因について、実際に選定を行っている病院関係者がどのように認識しているのか、認識している場合はどうすれば良いと考えているのか、解決に向けてどのような取り組みを行っているのかなどについて、インタビュー調査を基に明らかにする。加えて、非効率性が生じないようにサポートするコンサルティングサービスを提供するビジネスモデルを検討する。

具体的に医療機器の購入の際に起こる問題としては、「贈収賄」、「オーバースペック」、「アンダースペック」の3つを取り上げた。「オーバースペック」とは、病院にとっては本来必要のない機能などが搭載されていることを意味する。オプションの購入金額といった費用が上乗せされるリスクや購入時においては予算内であったとしても保守金額などの装置の維持にかかる費用が高額になる可能性がある。対して、「アンダースペック」とは病院にとって必要な機能を満たさないことを意味し、患者にとって必要な検査が施行出来ないことや、検査が出来るようにするためのオプション購入の追加費用が発生することになる。

それらの実態を把握するため、実際に医療機器購入において選定に関わっている6名の病院スタッフに協力を仰ぎ、「半構造化面接法」によるインタビュー調査を実施した。調査内容についてはSCAT (steps for coding and theorization) 法による質的分析を行った。

結果は病院ごとに状況が異なり、非効率性に対しての問題意識は全ての調査対象者が持っていたが、その対策の有無や取り組み内容に関しては様々であった。

また、医療機器導入における非効率性を防ぐようなサポート業務を提供するビジネスモデルに関しては基本的に有用だと認識されており、高いニーズがあることが把握できた。